

記者発表（ 発表 ・資料配布）				
月日	担当課・班名	TEL	発表者名 (担当)	その他の発表先
1/11 (木)	教職員課 (考査班)	内線：5665 直通：(078)-362-3747	課長 今井 一之 (班長 岡田 悟)	なし

平成29年度 兵庫県優秀教職員表彰式の実施について

1 表彰の目的

日々の学校教育活動において優れた取組を行っている教職員の努力を讃え、当該教職員が表彰を機にさらに意欲的にその実践力を高めるとともに、その成果を普及することで、本県教職員全体の職務意欲・資質能力の向上と本県教育の活性化を図る。

2 表彰の概要

兵庫県教育委員会が任命権を有する市町組合立学校教職員、県立学校教職員のうち、学校教育活動において、他の教職員の模範となる取組を行い、特に顕著な成果をあげている30名を教育長が表彰する。なお、本表彰は平成18年度から実施しており、これまでに418名が受賞している。

<参考1 受賞者の内訳>

区 分	人 数	内 訳
小 学 校	13名	教育職員12名、事務職員1名
中 学 校	10名	教育職員9名、事務職員1名
高 等 学 校	5名	教育職員5名
特別支援学校	2名	教育職員2名
計	30名	教育職員28名、事務職員2名

<参考2 分野別受賞者数>

分 野	校 種				
	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	全 体
(1)学習指導、研修・研究活動	6	7			13
(2)生徒指導、進路指導			3		3
(3)課題教育(学校保健・食育、特別支援教育、人権教育、防災教育、へき地教育等)	6	3	1	2	12
(4)職務の工夫・改善	1				1
(5)開かれた学校づくり、その他の学校教育活動			1		1
合 計	13	10	5	2	30

3 表彰式

(1) 日 時

平成30年2月7日(水) 14:00～15:00

(2) 場 所

兵庫県公館 第一会議室

平成29年度兵庫県優秀教職員表彰受賞者一覧

小学校 (13名)

No.	氏名	学校名	職名	主な受賞内容	分野
1	西尾 鮎子 にしお あゆこ	尼崎市立水堂小学校	主幹教諭	<p>国語教育の先進的研究に打ち込み、研究成果を広く発信し、国語教育の発展と振興に大きく貢献している。平成27年度には阪神地区小学校国語研究大会の運営、準備、他校との調整を的確に行うとともに、自身も代表授業を行い、参観者から高い評価を得た。平成28年度には尼崎市教委指定の国語科マイスター教員に認定され、他校への講演や代表授業を行った。</p> <p>また、勤務校において学力向上委員会を立ち上げ、学力向上の手引きや自主学習、生活点検等のシステムを整え、教員の学力向上に対する意欲と技術を向上させるとともに、神戸市、堺市、北九州市からの教育視察において、代表授業を行い、学力向上の説明等をわかりやすく行った。</p>	学習指導、研修・研究活動
2	村上 大介 むらかみ だいすけ	伊丹市立桜台小学校	教諭	<p>長年、伊丹市算数・数学スキルアップ講座の代表を務め、同講座を主宰している。夏季休業中に全国の教員を対象に自主研修講座を開催し、多くの講師を招聘し、音読計算や丸付け法などを取り入れた授業改善の取組を広げた。</p> <p>平成29年度には関西数学授業研究会において研究授業を行うとともに、同会で広げた知見や指導技術等を、研修会等で伝達して他の教員の授業力向上にも貢献している。</p> <p>平成18年度から2年間、伊丹市教科等指導員（小学校算数）を務め、平成22年度から4年間は県教委教科等指導員（小学校算数）を務め、初任者研修や中堅教諭等資質向上研修において後進の指導に当たった。</p>	
3	福江 淳 ふくえ じゅん	三田市立富士小学校	教諭	<p>三田市の特別活動の授業実践を先頭に立って牽引し、三田市教育研究グループの研究活動の一環として、指導者向け特別活動資料DVDや学級活動Q&A等の作成に取り組んだ。</p> <p>平成29年度には全国小学校学校行事研究大会において、学校教育目標と学校行事を関連づけ、それぞれの学校行事の計画的な指導について発表を行い、その発表内容が日本教育新聞に掲載された。</p> <p>平成22年度から8年間、三田市立学校教科等指導員（特別活動）を務め、市内小学校や市教委主催の研修会等において幾度も講師を務め、市内小中学校教員に対して指導助言を行っている。</p>	
4	満石 大輔 みついし だいすけ	加古川市立平岡東小学校	教諭	<p>平成26年度より3年間、県教委から「日本語指導研究推進校」の指定を受け、外国籍の児童や外国にルーツを持つ児童が多い同校において、学習面や生活面でのコミュニケーションギャップによるトラブルを解消するため、教科指導型日本語指導の研究に取り組んでいる。</p> <p>さらに研究成果を「兵庫の教育」紙上や兵庫県人権教育研究大会等で発表することで、その指導方法を市全体や全県的に広めるための啓発にも取り組んだ。</p>	
5	松尾 能志 まつお なるし	加東市立社小学校	教諭	<p>加東市教委学校経営研究指定において、中心となって協同学習の理論と実践を校内に広め、研究を深めるなど、協同学習を取り入れた授業実践を重ね、主体的・対話的で深い学びの構築に取り組んだ。</p> <p>平成27年度から3年間、ひょうごつまずきポイント指導資料作成検討委員会委員（小学校算数）として、児童の学習意欲を高める効果的な指導事例等を蓄積し、指導資料等の充実にも努めた。</p> <p>平成27年度には、播磨東地区小学校算数魅力ある授業づくり実践研修において公開授業を行い、平成29年度には、小学校学校行事研究全国大会において、自校の取組や、これまでの研究、授業実践について発表を行った。</p>	
6	宮脇 祐子 みやわき ゆうこ	洲本市立由良小学校	教諭	<p>地域住民をゲストティーチャーとして招くなど、地域住民と子どもたちが触れ合う場を設け、地域から愛される学校づくりに貢献し、その取組について平成26年度の近畿地区小学校生活科・総合的な学習教育研究協議会兵庫大会において、地域との関わりのテーマのもと発表を行い、参加者から高い評価を得た。</p> <p>教科指導では、特に造形教育において優れた指導力を発揮し、平成25年度の兵庫県造形教育研究大会淡路大会で公開授業を行った。主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業実践を行っており、多様な学びの切り口が後進の模範となっている。</p>	

No.	氏名	学校名	職名	主な受賞内容	分野
7	まいた 岸田 育子	伊丹市立伊丹小学校	教諭	伊丹市で先頭をきって「自分の性に違和感を持つ(性同一性障害)児童」の支援に携わり、常に児童に寄り添うとともに、保護者の相談役にもなり心の安定を図った。校内において、大学教授や該当児童の主治医を招いた学習会の開催や、母親の生の声を聞く機会を持つなどして、教員の意識の向上に努めた。また、人権教育の取組として各学年のLGBTに関する学習カリキュラムの開発にも携わった。 伊丹市特別支援教育研究会の役員を務めたり、平成29年度の全国教育研究会において実践報告をするなど、伊丹市内外において、学校教育におけるLGBT関係の理解の向上に努めている。	
8	なかざわ 中澤 陽子	稲美町立天満東小学校	養護教諭	養護教諭として、常に学校の教育活動全般における児童の様子に気を配り、身体面だけでなく、児童の心の変化をいち早く察知し、児童の身体的不調の背景にある心の健康問題を見極めるためにヘルスカウンセリングを実践し、いじめや不登校といった生徒指導的な課題の解決にも重要な役割を果たしている。 近畿養護教諭研究協議会班別研究協議会で兵庫県を代表して教育実践を発表するなど、自身の取組を県内外に発信している。さらに、平成23・24年には、兵庫県養護教諭研究協議会理事として活動した。	
9	にし の 西野 あけみ 明美	姫路市立城東小学校	教諭	教科指導型日本語指導の実践研究を中心となって推進し、その取組を実践発表や授業公開で発信し、他の教職員の模範となった。 また、ベトナム国籍の児童に対するベトナム文化の継承及びベトナム文化と日本文化の交流を目指し、獅子舞(ムーラン)に取り組み、その成果を「ひめじ国際交流フェスティバル」において毎年発表している。さらに、姫路市内の外国人児童生徒や外国にルーツのある児童生徒を集めて交流会を開催したり、ベトナム人支援者懇話会主催の日本語多言語スピーチコンテストの開催に尽力するなど、姫路の多文化共生分野において、最前線で活躍している。	課題教育(学校保健・食育、特別支援教育、人権教育、防災教育、へき地教育等)
10	みむら 三村 理加	姫路市立高浜小学校	主幹教諭	児童及び職員に対する健康教育を推進するとともに、校内危機対応訓練を企画・立案するなどリーダーシップを発揮し、危機管理について職員の意識を高めた。 平成25年度より、毎年「食物アレルギー」や「災害対応」など、学校における危機対応についての研修の講師を市内、市外、県外の数多くの小・中学校等において務め、平成25年度には、県教委主催の健康教育研修会において実践発表し、平成28・29年度には、(独法)教職員支援機構主催の健康教育指導者養成研修において「学校における救急処置に関する研修の在り方」をテーマに講師を務めた。	
11	しおつ 塩津 じゅんこ 順子	相生市立双葉小学校	栄養教諭	栄養教諭として、常に担任等と連携し、積極的に食育の授業に関わるなど、所属校のみならず市内全体の食育推進に大きく貢献している。 文部省指定の「食生活に関する教育実践事業」や「学校給食を活用した食育推進事業」等を中心となって携わり、子どもたちの健康増進に向け、健全な食生活の実現に取り組んだ。 平成25年度から2年間は兵庫県学校栄養士協議会副会長を務めて同協議会の運営に尽力し、平成27年度には西播磨地区学校給食研究協議会栄養管理部長を務め、地域の学校給食の普及充実に尽力した。	
12	やまもと 山本 みちこ 路子	宍粟市立山崎小学校	養護教諭	養護教諭として、発達段階に応じた保健教育を実施し、児童の教育増進及び保持に寄与している。 平成24年度には、「優れた『早寝・早起き・朝ご飯』運動の推進にかかる文部科学大臣表彰」を受賞し、国立オリンピック記念青少年総合センターにおいて、事例報告を行った。また、平成26年度には、文部科学省主催の全国家庭教育支援研究協議会でパネルディスカッションを行った。 平成28年度には兵庫県養護教諭研究会連盟推進委員として、兵庫県の各地区養護研究会の連絡及び研究協議を行い、学校保健の推進に尽力し、平成29年度には兵庫県養護教諭研究会連盟幹事を務め、連盟主催の研究会の運営に当たっている。	
13	きたぐち 北口 いく子 郁子	西宮市立東山台小学校	学校副主幹	学校業務改善を中心となって推進し、週1回の定時退勤日に加え、各自が月1回以上設定する「My定時退勤日」を推奨して同校に定着させ、学校全体の超過勤務の縮減につなげた。この取組は先進事例集「GPH50」にも掲載されている。また、教職員向けに「事務室だより」を発行し、学校徴収金に係る担任との連絡調整、文書整理・保管・廃棄に関する手順や時期、書式を教職員と共有するなど、教職員の立場に立った業務改善を図っている。 県立教育研修所が主催する事務職員経験者研修の学校業務改善に関する講座の講師として、県内の小中事務職員の指導に努めるとともに、市内においても若手事務職員の研修に力を注ぐなど、事務職員の資質向上に尽力している。	職務の工夫・改善

中学校（10名）

No.	氏名	学校名	職名	主な受賞内容	分野
14	西前 孝嗣 にしまえ たかづと	尼崎市立大庄北中学校	教諭	平成24年度以降、尼崎市中学校数学研究部会研究員を務め、数学教育の先進的研究を行い、尼崎市内の小・中学校の数学教育に大きく貢献した。平成25年度から2年間は、尼崎市中学校数学学力調査問題作成委員として問題作成に取り組み、高い評価を受けた。 平成27年度からは兵庫県つまずきポイント指導事例集等の作成に係る指導資料検討委員会委員として、本県児童生徒の学力向上に努め、指導事例集の作成を行った。さらに、平成28年には明治図書出版の「数学教育」に授業実践について執筆し、近年も校外内の研修会で講師を務め、実践内容を広めている。	
15	野田 義子 のだ よしこ	伊丹市立西中学校	主幹教諭	長年所属校で研究主任を務め、教職員の授業力及び生徒の学力向上に努めている。伊丹市教委指定研究発表会において、平成16年、平成20年、平成27年に研究発表し、自主性を伸ばす授業の工夫や、個人の発表を受け入れる集団づくりについて研究成果を発信した。 平成22年度から4年間、伊丹市教科等指導員（中学校美術）を務め、年1回の講座を開催し、市内美術教育の推進に寄与した。また、平成26、28、29年度には、兵庫県教委教科等指導員（小学校図画工作・中学校美術）を務め、初任者研修や中堅教諭等資質向上研修において後進の指導に当たっている。	
16	山端 早百合 やまばた さゆり	明石市立魚住東中学校	主幹教諭	平成27年度から県教委が推進している「ひょうごつまずきポイント指導事例集」の作成に当たり、作成検討委員会委員（中学校国語）として活躍している。特に「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」について担当し、生徒のつまずきを解消・改善するための授業づくりを考案した。 また、平成27年度から2年間、明石市教委が推進する「読書活動推進事業」推進校の推進教員として、学校教育における読書の位置づけやねらいを明確にし、学校図書室を主体的な学習活動を支援する拠点とする方法等、校内体制を整備して計画的継続的に研究を進め、指定が終わった現在も研究を重ねている。	
17	梶尾 保 かじお たもつ	三木市立吉川中学校	主幹教諭	技術科の指導に熱心に取り組み、三木市の技術科の指導力向上に尽力してきた。平成26年度からは県教委より教科等指導員（技術科）に任命され、技術科の初任者・2年次・3年次研修者の研修・授業実践研修において講師を務め、県内の若手教員等の指導・育成に大きく貢献している。 平成28年度の東播磨・北播磨地区中学校技術・家庭科研究大会発表においては、技術分野の研究授業実施に向けて、教材の開発、指導計画の立案について積極的に関わり、研究授業者である若手教員に対し指導助言を行う等、研究会の運営に中心的な役割を果たし、成功に導いた。	学習指導、研修・研究活動
18	上月 里香 こうつき りか	神河町立神河中学校	教諭	保健体育の教科指導において、学習への興味関心を呼び起こす授業展開及び指導形態や指導方法の研究に努力し、その実績が認められ、平成28、29年度に県立教育研修所での初任者研修の講師を務めるなど、他の模範として活躍している。 平成14年度以降は特別活動分野にも携わり、特に平成25年度には当時の在籍校においてSNSに関するルール作りに取り組み、委員会の立ち上げから最終決定まで生徒が自分たちの力で取り組めるよう導き、生徒達に自信を持たせることに成功した。これらの取組の様子は、中播地区特別活動委員会発行の特別活動記録集（H26～28）に掲載されるなど、取組成果が広く発信されている。	
19	藤本 美千代 ふじもと みちよ	朝来市立生野中学校	教諭	小学校・高等学校と積極的に連携を行いながら、グローバルな視野を持つ人材の育成に向け、系統性のある研究を推進するとともに、校種や市町域を超えて公開授業を行うなど、研究成果を広く発信している。平成26年度からは、文科省指定の「外国語教育強化地域拠点事業」の研究主任として、小中高の系統性を重視した研究に取り組んでいる。 さらに、指導力向上のために文科省の英語教育推進リーダー中央研修等に参加して言語活動指導法等を学び、市内外の英語科教員を対象に伝達講習を実施して研修成果を広く還元した。また、平成28年度からは県教委教科等指導員（英語）となり、研修会等を通じて、地域の英語教育の発展に貢献している。	

No.	氏名	学校名	職名	主な受賞内容	分野
20	にしだ 西田 美和	丹波市立和田中学校	教諭	平成27年度からひょうごつまずきポイント指導事例集等の作成に係る指導資料検討委員会（中学校国語部会）の委員に委嘱され、同校校内研修委員長として、学力向上に向けた授業作りを率先して行った。平成27年度に実施された「ひょうごつまずき状況調査」の結果から、「読む領域」に関する課題を整理し、課題解消に向けた工夫について授業実践を進め、この取組に関する実践発表を丹波教育事務所主催の研修会において行った。 平成29年度は丹波市中学校教育研究会国語部会副部長に推薦され、部会運営とともに、新学習指導要領に関する改訂ポイントについて、市内国語科教員への周知にも努めている。	学習指導、研修・研究活動
21	みぞがき 溝垣 隆宏	多可町立加美中学校	学校副主幹	EARTHのリーダー的存在として兵庫の防災教育に貢献し、地域でも活躍出来るEARTHを目指し、兵庫県防災士会と連携を図り、学校防災体制の充実に積極的に取り組んでいる。また、県立教育研修所事務職員経験者研修にて避難所運営ゲーム(HUG)を使って研修を行う等、HUGの普及するきっかけを作った。 阪神・淡路大震災を始め、様々な被災地へ行き、被災者支援に当たるとともに、学校の早期再開に向けて現地の教職員に指導助言を行った。また、その体験を生かし、県内はもとより、他府県の学校の防災教育講師として活躍している。このほか、校内の防災マニュアルの見直しを行った。	
22	きがやま 嵯峨山 文子	たつの市立御津中学校	養護教諭	生徒の健康課題を解決するため、全職員あがりの健康観察や生徒保健委員会活動を中心とした健康教育等の学校全体を巻き込んだ取組を行い、同校の欠席者を激減させるなど、大きな効果をあげた。 兵庫県養護教諭研究会連盟において副会長・会長・顧問を歴任し、連盟の円滑な運営を通して県の学校保健活動の向上に努めた。さらに、平成29年度は全国養護教諭連絡協議会常務理事も務め、同会の会計・会報の編集等を担当するとともに、日本学校保健会学校健康づくり啓発委員会の委員を務め、子どもたちの健康課題解決のため尽力した。	課題教育（学校保健・食育、特別支援教育、人権教育、防災教育、へき地教育等）
23	てらうち 寺内 和恵	太子町立太子東中学校	教諭	学校生活支援教員として、校内支援体制の充実に対する強い使命感をもって教育実践を積み重ねた。播磨西地区のリーダー的な役割で、巡回指導、巡回相談、医療・福祉等の関係機関との連携等の取組を主体的・積極的に推進するとともに、組織的・継続的な研修制度の確立・充実に取り組んだ。 小中高の校種間連携の充実にも意欲的に取り組み、平成27年度には播磨西地区サポートネット会議において研究発表を行い、県特別支援教育センターの新任特別支援学級担当教員等研修において講師を務め、平成29年には揖龍教委連絡協議会主催の研究会で発表を行うなど、小中高の連携推進のさらなる充実に向けて、提案・実践を精力的に行っている。	

高等学校（5名）

No.	氏名	所属	職	主な受賞理由	主たる分野
24	たぐち じゅんいち 田口 順一	県立湊川高等学校	教諭	平成26年度に県進路指導研究会定通部会進路開拓幹事となり、全日制課程限定の求人企業等に定時制への求人を組織的に働きかけるとともに、自らも企業を訪問するなど積極的に県定時制枠新規求人開拓に努め、求人数を過去7年間で最高レベルにまで回復させ、内定率も大幅に上昇させた。 平成27年度からは同校総務部長として、自己有用感を高める地域クリーン作戦や同校の特色を生かした地域交流事業等を企画・実施している。さらに、学校防災マニュアルの改訂、Jアラート対応についての生徒説明等、「生徒の命を守る」危機管理にも率先して取り組んでいる。	
25	にしむら たくあき 西本 篤史	県立社高等学校	教諭	心のサポート事業の指定を受けた同校において、生徒指導部長及び心のサポートシステム研究開発のリーダーとして、「生徒パーソナルファイル」を活用した取組を推進している。入学前年度の3月から全中学校を訪問し、新入生の情報収集を行い、データベース化した。さらに、生徒の日々の様子等を即座に情報共有できる「ポストイット形式」もデータに付け加え、教師間の連携をスムーズに行えるようにした。 平成27年度には兵庫県高等学校生徒指導協議会東播磨支部常任委員を務め、同地区の取組を主導するとともに、生徒指導のあり方を伝え、適切な助言を行った。	生徒指導・進路指導
26	うへたに せいか 上谷 冨	県立洲本高等学校	教諭	定時制高校及び通信制高校において、生徒の健康管理、就職先の開拓、高卒認定試験のための補習実施等に努め、多方面から生徒指導のために尽力した。特に、生徒の健康状態が把握しづらい通信制高校勤務時には、保健部長として未提出者の多かった検尿による体質管理を目指し、約1,000名の検尿提出に成功し、その結果、若年性糖尿病罹患者の早期発見、早期治療につなげることができた。 また、平成25年度からは同校進路指導部長として、増え続ける学卒就職希望者対策のため頻繁に企業訪問を行う等、学卒就職希望者対策・定着指導対策を実施した。	
27	たがわ ともやす 谷川 智康	県立三田祥雲館高等学校	教諭	天文学部の顧問として、海外の研究者等とも交流しながら多くのデータを集めて解析し、小惑星の自転周期の解明や太陽黒点の研究を行った。これらの取組を通して生徒の人的な成長を促し、主体的に学ぶ姿勢を育成している。指導した生徒は研究成果を米国の専門誌に英語で投稿したり、タイで行われた研究会に参加して英語でのプレゼンテーションに挑戦したりと、グローバルな活動を意欲的に行い、全国高等学校総合文化祭等多くの大会で賞をとっている。 自身も、兵庫教育（H24）や天文教育（H28）に実践内容を掲載するとともに、兵庫県地学会総会（H28）やJAXA宇宙科学研究所での研究会（H28）等で活動報告を行った。	課題教育（学校保健・食育、特別支援教育、人権教育、防災教育、へき地教育等）
28	ながみつ まさみ 長光 雅実	県立有馬高等学校	教諭	長年学校農業クラブの顧問を務め、県大会や近畿大会での受賞のみならず、全国大会でも優秀な成績を残している。 また、県下農業関連学科設置校の規模が縮小する中、県学校農業クラブ連盟の改革の中心教員として小規模校合同のブロック事務局制度を実現させ、改革初年度にブロック合同開催事務局主幹校の主顧問として、近隣の学校と協力しながら丁寧且つ緻密な組織運営を行い、県連盟大会をはじめとする各種大会をスムーズに運営し、成功させた。 さらに、平成23年に「兵庫教育」に執筆投稿したり、平成18年から4年間、いなみ野学園において日本学校農業クラブ指導者養成講座で講師を務めるなど、実践成果を発信している。	開かれた学校づくり、その他の学校教育活動

特別支援学校（2名）

No.	氏名	学校名	職名	主な受賞理由	分野
29	もりかわ きつら 森川 晃	県立西神戸高等特別支援学校	主幹教諭	播磨特別支援学校在籍時、就業技術科設置に携わり、軽度知的障害生徒の就労支援をシステム化して「播磨版デュアルシステム」を導入し、この取組について県教委主催の研修会等で講演した。現任校においては、平成29年度の開校と同時に企業等と連携し、「西神戸版デュアルシステム」を構築・導入し、現場体験実習を多く取り入れた特色あるカリキュラムの中で具体的な実践を進めている。 姫路しらすぎ特別支援学校や西神戸高等特別支援学校の開校準備に携わり、進路担当として生徒の卒業後の自立した生活を見据えた学校づくりに取り組んだ。	課題教育（学校保健・食育、特別支援教育、人権教育、防災教育、へき地教育等）
30	えつだ のりこ 越田 典子	県立東はりま特別支援学校	主幹教諭	学校独自の「清掃検定」を策定し、重度の知的障害がある児童生徒にも実態に即した清掃ができるよう工夫した。さらに、小学部1年から高等部3年までの12年間にわたる、児童生徒の社会で働くために必要な力を確認するための評価表を作成し、各担任の指導に役立てている。 進路指導に関する実践について、初任者研修や加古川市・高砂市育成会主催の就労に向けてステップアップ講習、加古川市特別支援教育研修夏季研修会等多くの研修会で講師を務め、実践内容を広めている。	